ORANGE JOURNAL 法政大学 校友会報

よき師 よき友 つどひ結べり

第21号（通算428号）

www.hoseinet.or.jp
（法政大学校友会 HP）

Published by 一般社団法人 法政大学校友会
発行人：竹中 宣雄（校友会会長） 編集人：田崎 稔 （校友会副会長）
〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎４階
TEL：03-3264-1831 FAX：03-3264-4770 E-mail：jimukyoku@hoseinet.or.jp

目 次

パリオリンピック特集……P１
第11回定時総会……P２
クロスワードに挑戦!……P３
パートナーだより……P４
全国法政大学卒業生等市長会……P５
進取の気象 龍円愛梨さん……P６
スポーツ 制覇を誓いて鍛えた腕（かいな）……P７
沖縄県特集……P８

パリ2024オリンピック開幕！ 法政関係者12名が出場 現役生は全員女子！

パリ五輪が24年7月26日開幕した。法政大学関係者の日本代表も多数選出された。特に在学生の初出場者の活躍に期待が集まる。今大会には、競泳バタフライの三井愛梨、サッカー女子の藤野あおば、フェンシング・サーブルの尾﨑世梨など現役女子学生の活躍が目立っている。今回はメダルが期待される三井選手に注目して、スポーツ法政記者が追った。

3月末に自己ベストタイムを更新

女王は女王のままパリへ乗り込んでいく。今年3月末に開催された競泳の国際大会代表選手選考会・女子200㍍バタフライに出場した三井愛梨は、昨年4月に世界水泳の代表を内定させた日本選手権同種目でマークした自己ベストタイム（2分06秒77）を上回る2分06秒54で優勝。それと同時に自身初となる五輪代表が内定した。

五輪代表内定を得たものの

予選、準決勝は共に危なげない泳ぎで1位通過。どこか感覚を確かめるかのようにみえた予選のレースを三井は、「予定通りのいい泳ぎができたのではないか」と振り返っている。準決勝は派遣標準記録（2分07秒95）の突破を視野に入れて挑んだものの惜しくも届かず（2分08秒42）。しかしそれでも、後半の加速力に確かな手ごたえをつかみ全体1位で決勝進出を決めた。レース後のインタビューでは「明日も全力で泳いで、派遣を突破してもちろん優勝して、タイムでいったら2分05秒台を目指したい」と言葉を残し、会場を後にした。

迎えた決勝戦。詰めかけた観客からの声援をいっぱいに受け、三井は堂々と4コースのスタート台へと上った。一瞬の静寂の後に号砲が鳴ると、およそ2分間のパリ五輪代表権をかけた戦いが始まった。後半型の泳ぎを得意とする三井にとって、前半を1分01秒台前半で入ることは昨年の世界水泳の頃から課題に掲げている部分である。この日のレースの前半100㍍のタイムは「1分01秒36」。きっちりと目標通りのタイムで入ると、トップから約1秒差の全体3位でターン。ここからはまさに翔ぶような泳ぎで一気に差を詰めていく。残り50㍍のターンで先頭に立つと、そこからは一人旅に。後続を寄せ付けず、2分06秒54の自己ベストをたたき出し優勝。準優勝の牧野紘子（あいおいニッセイ）と共に、五輪代表内定を手にした。しかし、レース後の彼女の顔はどこか浮かない様子にも見て取れた。「ゴール板に着いた瞬間は嬉しいというよりも、タイムを見た時に悔しいという気持ちが一番最初に湧いてきた」。5秒台、そしてその先にある日本記録（星奈津美が2004年に記録した2分04秒69）更新を視野に入れていた三井にとっては満足できる結果ではなかったようだ。

厳しい指導を成長の糧に

内定までの道のりは決してやさしいものではなかった。昨年のインカレでの200㍍バタフライ優勝後から歯車が狂い始めた。自分の泳ぎの感覚を失ってしまい、その後のアジア大会では惨敗。「人生で初めてくじけそうになった」と三井はその期間を振り返る。それでも高校時代から二人三脚で歩んできた藤森善弘コーチと共に、自分自身に「絶対に五輪に出るんだ」とプレッシャーをかけ続け徹底的に泳ぎ込んできた。厳しい指導を成長の糧に変え、師弟でつかんだ夢舞台へのチケットだった。

世界トップとの差を埋めるため

国際大会代表選手選考会以降の三井は、前半のスピード強化の練習とウエイトトレーニングに特に力を入れている。「選考会の時に、『入り』の100㍍は1分01秒台前半だったが、オリンピックの舞台では00秒台前半で入ることができるように練習している」と語るように、前半から積極的に飛ばしていく海外選手を想定した練習を積んでいる。2023年7月に開催された世界水泳の200㍍バタフライで優勝したカナダのサマー・マッキントッシュは、同レース決勝で前半100㍍を三井より2秒以上速い58秒97で入った上、ラスト50㍍のタイムも三井を上回り2分04秒06のワールドジュニアレコードを叩き出した。昨年の夏に実感した世界トップとの差を埋めるため鍛錬の日々だ。またウエイトトレーニングも、三井自身もプル（水を掻く腕の力）が強くなったことを心底実感するくらいの効果が出てきている。肩や腕周りの筋肉を中心に鍛えており、「半袖のTシャツを1年ぶりくらいに着ると、こんなにきついんだっけ?と思うくらい効果は出ている（笑）」と日常生活にも変化が見られるようだ。

メダル獲得を目標に

昨年夏の世界水泳に続き、これで2年連続のシニア代表入りとなった三井。「夢の舞台」と語るパリ五輪まではもう2カ月を切っている。ここからは「パリ五輪でのメダル獲得」を目標に再び世界の猛者たちと戦う準備期間のためイタリア遠征を消化し、そのまま決戦の地パリへと向かう予定だ。「五輪ではメダルの獲得と自己ベストタイムの更新、また日本記録の更新も狙っていく」と独占インタビューの最後に力強く語ってくれた。

翼を広げるようなその泳ぎで、パリの地を飛ぶように翔ける彼女の姿が楽しみだ。

（文学部3年 野田 堅真）

三井選手に聞きました

――オリンピック代表内定が決定した直後の率直な気持ちは

ゴール板に着いた瞬間は嬉しいというよりも、タイムを見た時に悔しいという気持ちが一番最初に湧いてきました。

――昨年の世界水泳代表内定と今回の五輪内定。気持ちに差はあったか

昨年は初のA代表ということもあって嬉しいという気持ちが強かったです。今年はタイム的にも納得できない部分はありました。昨夏あたりからの不調もあった中で、五輪に出るんだと自分にプレッシャーをかけ続けての内定だったので安心感が大きかったです。

――水泳はいつから始めたのか

スイミングスクールに通い始めたのが5歳の時で、選手コースに入ったのが小学2年生に上がるタイミングです。

――バタフライを専門に泳いでいる理由は

ずっとスタイルワンがバタフライで一度も変わったことがありませんでした。なので気づいたら泳いでいたというのが理由になりますね。自分に合っているんだと思います。

――これまでの競技人生で一番の挫折は

昨年の夏が終わってからアジア大会にかけての期間が一番の挫折だったのかなと思いますね。くじけそうにはなりました。

――ライバルは誰か

特にはいないですね。ただタイムという視点でいえば、星奈津美さんが持っている200㍍バタフライの日本記録（2分04秒69）です。

――最後にオリンピックに向けての意気込みを

オリンピックではメダルの獲得と自己ベストタイムの更新、また日本記録の更新も狙っていきますので、これからも応援よろしくお願いします！

インタビュー記事全文はこちら

本学のパリオリンピック出場選手

※７月５日時点把握分

	氏名	種目	学部	学年・卒業年度
現役生	三井 愛梨	水泳・200mバタフライ	国際文化学部	2年
	藤野 あおば	サッカー女子	スポーツ健康科学部	3年
	尾﨑 世梨	フェンシング・女子サーブル	法学部	4年
卒業生	敷根 崇裕	フェンシング・男子フルーレ	法学部	2020年度
	吉田 健人	フェンシング・男子サーブル	法学部	2014年度
	見延 和靖	フェンシング・男子エペ	法学部	2010年度
	福島 史帆実	フェンシング・女子サーブル	法学部	2017年度
	髙嶋 理紗	フェンシング・女子サーブル	国際文化学部	2020年度
	高橋 侑子	トライアスロン	スポーツ健康科学部	2014年度
	青木 涼真	陸上・男子3000メートル障害	生命科学部	2019年度
	中村 知春	女子7人制ラグビー	キャリアデザイン学部	2010年度
	宮澤 ひなた	サッカー女子	スポーツ健康科学部	2021年度

第11回定時総会開催

校友施設、年度同期会改革などの方向性が承認される
役員選任案件含む3議案が可決される

2024年6月29日（土）13時から法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート棟5階G503教室で実出席を基本とするオンライン併用方式で第11回定時総会を開催した。

総会は三井和夫業務執行理事の総合司会で始まり、本会に先立ちこの1年にご逝去された法政大学関係者、校友会関係者並びに後援会関係のかたがたに黙祷を捧げた。

開会にあたり校友会名誉会長である廣瀬克哉総長の挨拶、そして、竹中宣雄会長の開会の挨拶と続いた。

定款により議長に竹中会長を選任し、議事録署名人として議長および監事全員を指名した。

議決権を有する代表議員・理事総数　192名
出席代表議員・理事数（実出席、オンライン、意思表示書面による出席を含む）　190名

右のとおり代表議員・理事の出席があり、定時総会は適法に成立したので、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

◇決議事項◇

第1号議案
2023年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）の件

先ず、監事飯塚氏が、監事を代表して左の通り、監事報告をした。

「私たち監事は、当法人における2023年4月1日から2024年3月31日までの理事の職務の執行につき監査を行った。EY新日本有限責任法人の会計監査を受け、無限定適正の監査報告書を受領している。

（監査意見）

1. 事業報告等の監査結果

（1）事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認める。

（2）理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

2. 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

なお、決算日以降本日までに後発事象は発生していない」。

続いて、23年度事業報告を三井業務執行理事が、23年度決算報告について岡本業務執行理事がそれぞれ説明した。

第2号議案
2024年度事業・予算計画書（案）の件

当期（2024年4月1日から2025年3月31日）における事業計画（案）を三井業務執行理事が説明した。続いて予算計画書（案）を岡本業務執行理事が説明した。

第3号議案
役員選任（会長・監事・理事）の件

については、坂戸選挙管理委員長が説明した。

決議事項は、別段の異議なく、可決承認された。

その後、全般に渡る質疑応答があり、本総会における報告および全議案の審議を終了したので、議長は14時44分、閉会を宣した。

2024年度基本方針

昨年5月のコロナ5類移行を受けて、対面型の各種活動が多数行われることとなったが、今年度も引き続き、これまでに構築した各種デジタル化施策、新会員システム等を活用したうえで「全ての世代が繋がる」活動を進めていく。

2024年4月1日現在、正会員数は7万6千人を超え、2014年の法人格取得から学部卒業生を「年度同期会生」として迎える仕組みを作って以降、約6万9千人の若手組織が形成されている。校友会は大学への支援・現役学生への支援に力を入れているが、これに加えて会員比率の高い若手校友への支援、さらには若手層に占める割合の高い女性校友の活動支援を行っていく。

また現役学生・大学への支援として、各種募金活動に取り組むとともに、「法政大学理系コンソーシアム」の発展に向けての各種協力と、2024年4月開講に向けて法政大学社会連携教育センターと調整を進めてきた、「社会連携授業（寄付講座）」を着実に実行する。

今年度、終身会員向けの優待サービス「校友会クラブオフ」は、試用期間の3年目にあたるため、効果を検証し、正式な導入を検討。「法政オレンジMAP」については、掲載店舗数のさらなる拡大をめざす。

前年度に準備を進めた、校友施設の設置に向けた大学との連携、年度同期会生（若手卒業生）のパートナー組織への移籍制限の廃止、情報システムに関する大学との情報共有とその発展的運用についても、さらに検討を進めていきたい。

法政大学校友会は、大学・後援会との連携を深め、三位一体でのオール法政ネットワークの構築と強化を図り、「法政大学校友会憲章」の下、全国のパートナー組織と共に校友会活動のさらなる質的向上、持続可能な社会を実現するために、実践知での「価値」の創造を実現する体制づくりを行っていく。

校友会新役員一覧

推薦者

氏名	役職	卒業年・学部
竹中　宣雄	代表理事（会長）	1972年3月社会学部社会学科卒
田﨑　稔	業務執行理事（副会長）	1979年3月経済学部経済学科卒
三井　和夫	業務執行理事（副会長）	1978年3月経済学部経済学科卒
大森　廣行	業務執行理事（副会長）	1970年3月経営学部経営学科卒
中村寿美子	業務執行理事（副会長）	1981年3月法学部法律学科卒
石渡　洋行	業務執行理事（副会長）	1983年3月法学部法律学科卒
岡本　眞司	業務執行理事（副会長）	1970年3月経営学部経営学科卒
池谷　文雄	業務執行理事（副会長）	1980年3月法学部法律学科卒
田中　利幸	業務執行理事（副会長）	1982年3月経営学部経営学科卒
発地　敏彦	監事	1976年3月経営学部経営学科卒
飯塚　昇	監事	1974年3月経営学部経営学科卒
高須　順一	監事	1982年3月法学部法律学科卒 2020年3月京都大学大学院法学研究科法政理論専攻博士課程修了
田中　修司	監事	1989年3月経済学部経済学科卒
坂本　考史	監事	1996年3月社会学部社会学科卒

3年ぶりのトップテンに返り咲き
公認会計士試験合格者数ランキングで

2024年1月27日（土）、公認会計士法友会主催による「公認会計士試験合格祝賀会」を市ケ谷キャンパスの外濠校舎6階 薩埵（さった）ホールで開催しました。

2023年度は38名が合格しました（内訳は、卒業生22名、在学生16名）。過去2年間の合格者数は2021年度25名、2022年度28名であり、大学別ランキングでは、両年度とも14位でしたが、2023年度は9位と3年ぶりにトップテンに返り咲きました。経営学部や経済学部の出身・在籍者が多いのですが、今回は、法学部や文学部からも多くの合格者が出ました。

来賓として、廣瀬克哉総長をはじめ、日本公認会計士協会の茂木哲也会長、大学常務理事、後援会・校友会・経営学部同窓会・経済学部同窓会の会長および法政工業の会の役員、大学関係者（学部長、担当教授）が列席し、主催者である公認会計士法友会の会員を含め、約100名が一堂に会しました。

はじめに、廣瀬総長および茂木会長からの祝辞、大学等役員との記念撮影、後援会および校友会からの表彰・記念品授与の後、合格者全員から今後の抱負等について一言ずつ述べていただきました。最後は、応援団リーダー部・チアリーディング部によるエールと校歌斉唱で閉会しました。

今後、合格者の皆さんには、公認会計士を目指す後輩へのご指導もぜひお願いしたいと思います。

（公認会計士法友会　事務局長　河西正之）

2023年度 大学別公認会計士試験合格者数ランキング（トップテン）

1位	慶應義塾
2位	早稲田
3位	明治
4位	東京
	同志社
6位	中央
7位	京都
8位	神戸
9位	法政
	一橋
	立命館

大崎杏奈さん（法学部卒）
「これからも日々勉強を怠らず精進していきたいと思います」

校友会連携プログラムが開講

4月12日に校友会が大学と連携する校友会連携プログラム「企業における仕事と成長」が始まった。校友会会長がかねてより、卒業生の中に社会で立派に活躍されている方が沢山いるのでこの人達の豊かな経験、見識を学生にも伝えたいと大学と話し合い実現した。大学が掲げる「自由を生き抜く実践知」とも合致する試みである。

全学部が対象となり、単位の取得もできるプログラムである。講師は校友会から提供され、4人の講師で一人が3コマずつ計12コマである。

トップバッターはセブン&アイホールディングス元社長の村田氏であった。1回目は「自分自身のキャリアの振り返り」がテーマで、講師の話に学生が質問、疑問を投げかけ、全体をコーディネーターの佐野教授が調整する形で進められた。示唆のある話が多く、学生からの質問も活発に12回もあった。質問の意図などが教授の補足などで整理され分かり易く、次回以降の授業が大いに期待できる内容である。

（校友会顧問　坂戸俊夫）

ORANGE JOURNAL クロスワードに挑戦！

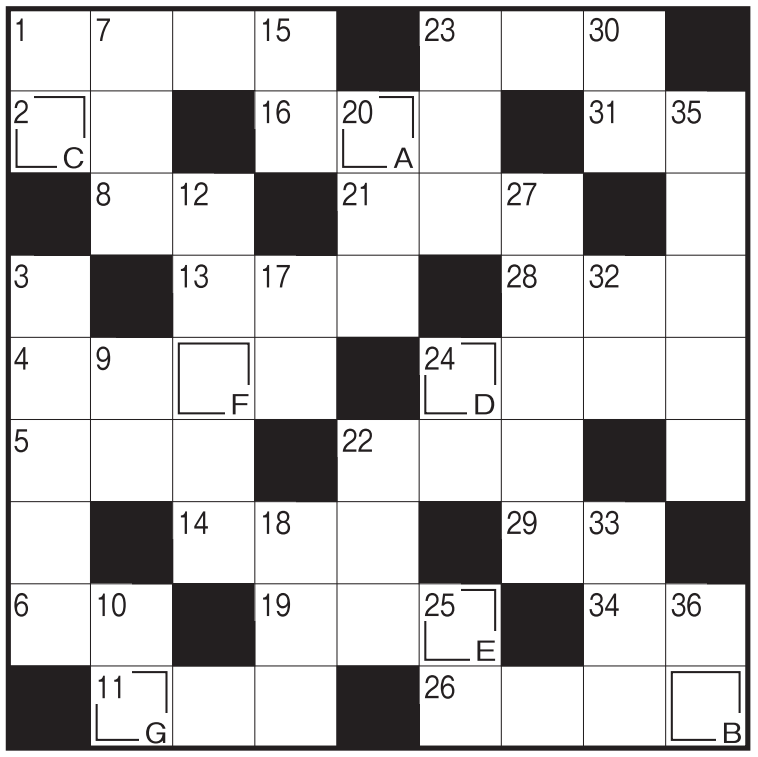
クロスワード正解者の中から抽選で
Amazonギフトカード 500円分を 200名様にプレゼント！

ヨコのカギ、タテのカギから連想されるワードをマス目に書き入れましょう。
二重枠に入った文字をAから順に並べてできる言葉は？

※カギは一般的な問題と法政大学や校友会にまつわる問題となっています

ヨコのカギ→

1 校友会ホームページの法政○○○○MAPでは、卒業生のお店を掲載しています
2 よく降る季節
4 「おかしいな？」と思うこと
5 広く資金を集めること
6 地球の核
8 2024年の入学○○は日本武道館で行われました
11 豚肉です
13 社会人の方も通いやすいように、大学院は○○○にも開講しています
14 市ヶ谷のボアソナード・タワーには、○○○ホールという多目的ホールがあります
16 市ヶ谷の玄関口は○○○ゲート。カフェテリア「つどひ」などの施設があります
19 大学卒業者に授与される学位
21 かりに付けられたタイトル
22 ○○○をかけるとは強い言葉で煽動すること
23 2024年の法政大学全国卒業生の集いの開催地
24 専売○○○○　○○○○庁
26 本学の目的の1つは、「学問の自由に基づき、真理の探究と「○○○○の気象」によって、学術の発展に寄与する」
28 リアルにかかったお金。○○○相当をいただく
29 自分を犠牲にしてまでほかの人のためにがんばる。○○主義
31 魔法の○○を振ると何が起こるかな？
34 小金井の正門正面にある建物は○○館



※パズル制作／ニコリ

タテのカギ↓

1 キングです
3 「　」←この記号です
7 法政大学の○○○をひもとくと、1880年の東京法学社の設立にまでさかのぼります
9 狭き○○を通って合格した
10 面会などの約束
12 市ヶ谷、多摩、小金井。それぞれの○○○○には特徴があります
15 自分にプライドを持つこと
17 校歌の○○では、「若きわれらが命のかぎり」や「蛍集めむ門の外濠」などが有名な一節です
18 情報○○○部や生命○○○部は小金井にあります
20 ○○○割　○○○外手当
22 五七五で表現します
23 だれがやるか○○○くじで決めよう
24 凹の反対
25 ○○身中の虫　○○奮迅
27 無理矢理にでも我を通そうとする
30 2024年は○○年です
32 地球の衛星です
33 水田によくいる巻き貝
35 法政大学環境改善活動推進キャラクターの名前。世界を舞台に様々な活動をしているウサギです
36 ○○に交われば赤くなる

解答

A	B	C	D	E	F	G

＜応募期間＞ 7月26日(金)～9月30日(月)

＜応募方法＞

クロスワードの解答を右記
QRコードよりご入力ください。

応募はこちら https://r.qrqrq.com/CVnS5wXJ

クロスワードの解答については、10月上旬までに法政大学校友会の公式アプリ・各SNSに掲載予定です。ぜひダウンロード・フォローをお願いします！

当選発表

＊当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
＊賞品(Amazonギフトカード コード)のお届けは応募時入力のメールアドレスへお送りします(賞品のお届けは2024年10月下旬を予定しています)
＊本キャンペーンは株式会社リロクラブによる提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしておりません。
法政大学校友会事務局(info@hoseinet.or.jp)までお願いいたします。
＊Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

本キャンペーンに関するお問い合わせ

一般社団法人 法政大学校友会事務局　TEL:03-3264-1831　E-mail:info@hoseinet.or.jp
開室時間:平日(月～金) 9時～17時(土日祝日は閉室)

ESSAY 校友随想

"法政おおわが母校"を卒業して幾年。各方面で活躍し、その後の人生模様を寄稿願った。

株式会社電通 コピーライター
勝浦 雅彦
'99年 法学部 法律学科卒

生きることは、書くこと。

私にとって生きることは、書くこと。入学後、自主マスコミ講座と出会い、「受けてみなよ」と当時電通が主催していたクリエーティブ塾をすすめられたことが人生を決定した。言葉や企画を考え、書くことの楽しさを知り、新校舎の名称公募でネーミング案が選ばれ「ボアソナード・タワー」の名付け親になることもできた。

「才能とはなんだろう?」よくそのことを考える。才能は純粋で壊れやすく不確かなものだが、「そもそも自分に眠る才能とはなにか?世の中にどんな価値を持つのか?」に気付けることがとても重要だと思う。時に若さゆえの勘違いも付きまとうが「勘違いもやり続ければ本物になる」と時々講義をする学生たちに伝えている。

いくつかの広告賞をいただき、本を2冊上梓したが、いまだに「自分にこの仕事は向いているのか」と悩むことも多い。しかし、解決方法はない。真っ白い紙やPC画面の前で唸りながら書くことでしか道は拓けないのだ。卒業して20余年、コピーライターとして書き続けられていることに感謝、感謝。

和歌山県企画部 企画政策局職員
水山 尚範
'04年 法学部 政治学科卒

人と人の繋がり、ご縁に感謝して。

学生時代は体育会系ラグビー部に所属し100人を超える選手、スタッフ関係者の皆さまと日々切磋琢磨しながら「日本一」を目指し活動しておりました。学生時代に「目標」を達成することはできませんでしたが、同じ「目標」を志す全国各地から集結した個性豊かな方々と過ごした時間、出会い、繋がりはかけがえのないものです。

卒業後は3つの社会人チーム(NEC・NTTドコモ・神戸製鋼)で10年間ラグビー選手を続け、学生時代に成しえなかった「日本一」を体験することができ、日本代表としても活動させていただきました。ラグビー選手を引退後は和歌山県にご縁をいただき、現在は県庁職員として職務し10年目となりますが、法政大学和歌山県校友会の皆さまの温かさと母校愛を肌で感じ、出会いに感謝しております。

さて、本年度は法政大学ラグビー部が創部100周年となります。歴史あるラグビー部への、ご声援よろしくお願い申し上げます！

全日本空輸株式会社 客室乗務員
細川(木藤)有香
'18年 文学部 英文学科卒

若き日の誇りを胸に

今から10年前、新調したスーツに身を包み、胸を躍らせながら臨んだ入学式。武道館での圧巻のパフォーマンスに惹かれ、法政大学応援団チアリーディング部の門を叩くことに。体育会の応援にも沢山行かせていただき、世界が大きく広がりました。六大学野球では、両親も神宮球場に駆けつけ校歌や応援歌を大声で歌ってくれていたのを覚えています。

応援団員のモットーは「頑張れ!と応援する為に、まず自分が頑張る」。その為勉学に勤しみながら日々鍛錬を重ねて応援活動や大会に臨むという忙しくも充実した4年間を過ごしました。3年時のアメリカ留学では、英語に加え本場でチアリーディングも学びました。

これらの経験から就職先として航空会社を強く意識し、エアライン講座や面接練習を重ねました。内定をいただいた後は、お世話になったキャリアセンターで学生サポーターとして多種多様な業界を志す仲間と就職支援を行いました。良き師良き友に恵まれた愛する母校での若き日の誇りを胸に、今後も客室乗務員として安全運航を堅持し、お客様にとって快適な空の旅となるよう精進いたします。

PARTNER NEWS

パートナーだより

地域・卒業生団体
学部・付属校同窓会

文学部同窓会

「護国寺」を訪ねる

文学部同窓会では、「特別企画」として、毎年、春と秋に都内・近郊散策を行っています。

5月10日（金）、本会の清原委会長（本学名誉教授）にご参加いただき、文京区の護国寺を訪ねました。

護国寺は、徳川5代将軍・綱吉が生母の発願を受けて建立した真言宗豊山派大本山の寺院です。

午後1時、東京メトロ有楽町線「護国寺」駅に集合して仁王門をくぐり、長い石段を上ると本堂に着きました。

本堂裏の墓地中央の道を進むと、左側に「日本民法の父」と言われる本学学祖で法政大学初代総理（総長）・梅謙次郎（1860～1910）の墓があり、花を供えました。

護国寺仁王門前で（左から4人目が清原会長）

梅謙次郎の墓の斜め先には、和仏法律学校（本学の前身）第5代校長・富井政章（1858～1935）の墓もあり、花を手向けました。

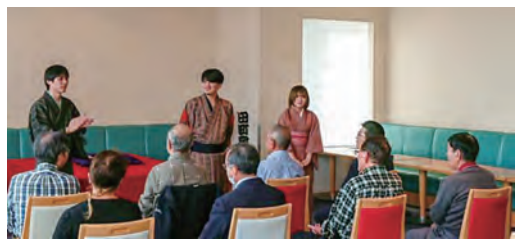
さらに、三条実美、山県有朋、大隈重信の墓も巡って、日本の近代化に寄与した先人たちを偲びました。

（75年史学科卒・金森和彦）

経営学部同窓会

昨年12月16日に、法政大学落語研究会による『法政寄席』をボアソナード・タワーのスタッフクラブで実施しました。落語研究会は、今年70周年を迎える歴史ある研究会で、2年生2名と1年生15名で活動を行っています。部員の中から2年生の田町家 芥（たまちや あくた）さん、1年生の田町家 亜露破（たまちや あろは）さん、1年生の田町家 茄桐（たまちや かき）さんに落語を披露していただきました。

その後、忘年会を実施しました。その他、昨年度は、5月と10月に六大学野球の観戦・親睦会を開催、9月は原昌宏氏の名誉博士学位授与式への参加、11月は自主法政祭ツアーの開催、法政大学交響楽団第150回記念定期演奏会への参加、本年1月3日は箱根駅伝沿道応援等々、イベントを企画実行しました。


落語研究会による寄席の模様

皆様に楽しんでいただけるよう今後も活動していきます。

法政大学高等学校同窓会

第9回『法政大学高等学校同窓会ゴルフ大会』

2024年2月16日、千葉県市原市キングフィールズゴルフクラブにて、第9回法政大学高等学校同窓会ゴルフ大会が開催されました。

「今日ドライバー新品だよ」「近頃調子いいみたいだね」と、気の置けない掛け合いをしつつ思いを秘めて、定刻通りにティーオフしていく同窓生。大たたきやナイスバーディーもあり、悲喜こもごものプレーが繰り広げられたようです。

5期（89歳）の秋山さんを筆頭に、法政大学ラグビー部元監督の武村さん（18期）も参加。最年少は45期竹末さんと多士済々の面々が集い、24名の同窓生にて手に汗握る戦いが繰り広げられ、36期の岩本さんが優勝しました。

岡本さん（18期）の司会による表彰式では、さまざまな賞が授与され、最後は高村同窓会会長（18期／法政大学応援団第44期団長）のリードにより、全員で校歌斉唱。次回大会での再会を約束して散会いたしました。

キングフィールズ３

松戸校友会

松戸支部総会開かれる

2月21日（水）松戸商工会議所で40名の会員参加のもと、令和6年の総会を開催しました。

冒頭、岩橋支部長から「支部一丸となって、さらなる会員増強と相互の親睦を図って、母校発展に尽くそう」との力強いあいさつがあり、報告・審議事項の全てが承認されました。

岩橋成行松戸支部長の挨拶

今年は3月3日に藤沢市民会館小ホールで開催しました。「かながわ歌声コンサート」としてスタートしましたが、昨年からは「昭和歌謡コンサート」に衣替えし、今回で5回目となります。この企画は業者（マイソング社）とタイアップし、一般のお客さまからの申し込みも受け付け、この日は301名の方に来場いただきました。ステージではプロの歌手・歌声カルテットの素晴らしい歌を2時間にわたり堪能し、またコンサートのラストでは、歌声カルテットによる法政大学校歌も披露され、好評のうちに終了しました。ご参加いただいた皆さま、大変ありがとうございました。

神奈川県校友会

神奈川県校友会は定例行事として「昭和歌謡コンサート」を行っています。

法政ライオンズクラブ

法政ライオンズクラブ20周年記念式典

2月28日（水）上野精養軒にて、東京法政ライオンズクラブ20周年記念式典を開催し、大学関係者やライオンズクラブ関係者約250名が会場を埋め尽くした。

コンサートの様子

当日、大学関係からは田中利幸校友会副会長と一ノ瀬享哉卒業生・後援会連携室長に列席いただいた。弊クラブとしてリーディングユニバーシティ法政募金に協力したほか、式典の一環で、スポーツ振興として体育会空手部、陸上競技部、そして法政大学附属校3校にそれぞれ金一封を贈った。菅前総理大臣からは祝電をいただき、披露された。

第二部の祝宴オープニングアクトとして法政大学空手部3名の演武が行われました。最後は、法政大学応援団リーダー部・吹奏楽部・チアリーディング部による迫力満点のステージが式典を盛り上げ、大きな華を添えた。

（幹事 後藤裕文）

式典を盛り上げる応援団

お詫びと訂正

本誌第20号（23年12月発行）に掲載した記事中、左記につきまして字句の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

記

・4頁（パートナーだより）欄の「経済学部同商会」は、正しくは「経済学部同窓会」です。

SERIES 校友会紹介

インド法友会

インド法友会発足
カオスの国に挑む
青年インドの代表者を目指して

まさかインドで校歌を歌うとは。3月、首都ニューデリー近郊の都市グルガオン。カラオケ付きの日本式飲食店に集まった同窓の12人が輪になって肩を組み、熱く親睦を深めた。

新型コロナウイルスが猛威を振るう前、齋藤誠一名誉会長（1989年工学部卒・日立システムズ）や橘敦志幹事（04年同・Nissi India Pvt. Ltd. 原籍メタルワン）を中心に少人数で始まった集いはいまや20人超に。4月には見上真生会長（00年同・Storytelling Consulting LLP）の下、正式な海外校友会「インド法友会」として発足。懇親会を通じ交流を広げてきた。6月に行われた六大学対抗ゴルフでは優勝も果たした。

14億人超が暮らすインドは昨年、中国を抜き人口世界一に。経済規模は拡大を続け、来年にも名目GDP（国内総生産）で日本を抜くとの予測もある。平均年齢は若く、国そのものも青年期にあるような活気とカオスに満ちている。

勢いを反映するように、会員の職種は自動車メーカーやIT、日印を往復しての教育関連事業に現地でデジタルマーケティングのスタートアップ運営など多彩だ。居住地もグルガオン周辺や西部ムンバイ、南部チェンナイなど全土に散らばる。

昨年10月の懇親会

一方、インドビジネスは一筋縄ではいかない。許認可の煩雑さやインフラの未整備といった課題は山積している。

50度近い酷暑や数十メートル先も見えない大気汚染で生活するだけでも楽ではない。

それでも進取の気象を持ち、急激に変貌する国で挑戦を続ける仲間の存在が心強い。

（植木啓太 10年社会学部卒・時事通信社）

今年6月、六大学対抗ゴルフ大会で優勝したメンバー

記念講演「消滅可能性自治体からの脱却に向けて」
第10回全国法政大学卒業生等市長会を開催

全国法政大学卒業生等市長会の第10回総会並びに懇親会が、6月11日ボアソナードタワーのスカイホールで開催され、現役市長11名、国会議員5名に加え大学関係者、校友会関係者などが参加した。

総会では、「消滅可能性自治体からの脱却に向けて」と題する記念講演を、宮元陸石川県加賀市長が行った。

市長を囲んでの記念写真

宮元市長は、加賀市に高等教育機関がなく若者が流出している。テクノロジーをいかに活用するか。そしてその人材を育成するためには、テクノロジーを利用して快適な暮らしを目指す「スマートシティ加賀」の実現を、と訴えた。

さらにデジタル先進国エストニアからの技術導入などの画期的な政策や「デジタル田園健康都市特区」の認定などに触れた後、様々な手を打っているが、いずれにしろ最後は教育だとして、例として子どもの創造性を大切にするレッジョ・エミリア・アプローチというイタリア発祥の教育方法を、公立全保育園に導入したことを紹介した。

そして、子どもの教育ばかりでなく、産業構造の変化に対応するためにも人材の育成が必要と「加賀市リスキリング宣言」に触れて講演を終えた。

むつ市、津久見市 40代の市長にインタビュー

さて、市長会のメンバーは、北は青森県むつ市、南は大分県津久見市までいるが、期せずしてむつ市長と津久見市長は、ともに40代の若手である。お二人に現状と抱負を伺った。

40代の石川正史津久見市長(左)と山本知也むつ市長

山本知也むつ市長「教育に力を入れたいと思います。コロナ禍でオンライン授業も進化しました。青森大学むつキャンパスと青森明の星短期大学下北キャンパスがむつ市にできて、若い人の定着の可能性が出てきました。来年には、八戸学院大学サテライトキャンパスもできます。国策の原子力施設、海上自衛隊などに協力しつつ、若者の知見を大事にしたいと思います」

石川正史津久見市長「元大関の千代大海と小学校、中学校は同期です。大分の地元局アナウンサーから転職した津久見市の企業で、津久見への貢献の想いが強まり、市長に立候補しました。

津久見は、ミカンとセメント、野球のまちです。ミカンは日本で一番古いという小ミカンがあります。樹齢800年を超えたもので、現在ふるさと納税の返礼品として使われています。セメントは日本一です。野球は県立津久見高等学校が春・夏の甲子園で優勝したことがあります。野球部寮も復活し選手が強くなりました。伝統を継承しつつ身の丈に合った『進取の気象』でありたいと思います」

お二人には、それぞれ伝統や歴史風土を踏まえつつ挑戦しようという意欲が見受けられた。

※なお全市長会黒崎幹事長はこの日をもって退任するとの挨拶を行った。

体育会ラグビー部100周年式典開催

去る6月29日(土)法政大学ラグビー部創部100周年記念式典が帝国ホテル東京「富士の間」にて、平山喜雄常務理事をはじめ多くの関係者総勢400名を超える皆様にご参加いただき、盛大に開催されました。

式典はラグビー部笹久保徹部長のご挨拶、廣瀬克哉法政大学総長並びに日本ラグビーフットボール協会土田雅人会長のお2人から、業務御多忙の中ビデオメッセージを頂戴し、平山喜雄常務理事、大森廣行校友会副会長、地頭江正美後援会会長、海老原洋一関東ラグビーフットボール協会会長から御祝辞を賜りました。

我がラグビー部は、1924年(大正13年)ラグビー経験者の倉谷安二郎先輩の主唱で、初代主将仙頭秀雄先輩他数名の学生が中心となりスタートしました。これまでに大学選手権優勝3回、関東リーグ戦優勝13回の戦績を残しております。

秋シーズンには新宮孝行監督、金侑悟キャプテンを中心に約100名の部員が一丸となり、法政大学学生として、又ラグビー部部員としての行動に誇りをもち精進していただくことを期待するところであります。

改めまして、皆様のこれまでのご支援に深く感謝を申し上げるとともに、これからの法政大学ラグビー部にもご期待いただき、引き続きのご支援とご指導賜りますよう、心からお願い申し上げます。

(法政大学ラグビーOB・OGクラブ広報)

本の散歩道

わんすけ先生、消防団員になる。

(小学館スクウェア)

小石川一輔(小川孔輔)著
法政大学名誉教授
(一社)JFMA 会長
MPSジャパン(株)取締役
葛飾区本田消防団員

家族や学生たちから「わんすけ先生」の愛称で親しまれる教授が主人公。ある日、葛飾区へ引っ越し、次男家族と二世帯住宅生活をスタート。稀代の食いしん坊で、趣味はマラソン。下町で出会った人々と交流を深め、仲間たちと「招き猫」を救出し、地元の消防団に入団!?古希を迎えてなおパワフルな、わんすけ先生の活躍を描く私小説。実在する名店・名所も多数登場するので、下町散策のお供にぴったり!

ロバートの元ストーカーがテレビ局員になる。～メモ少年～

(東京ニュース通信社)

篠田直哉 著
2019年社会学部卒

名古屋テレビ入社6年目の著者は、小学5年の夏からお笑いトリオ「ロバート」を追いかけ18年、ロバートを軸にして夢が大きく広がってゆく半生を描いている。

詳細なメモを取ることでロバートのネタを全て把握し、法政祭では実行委員となり彼らの単独ライブを大成功に導いた。発売からわずか2ヶ月で重版出来となった話題作である。

YouTubeでのロバート秋山氏との対談動画は、驚異の1000万人超の再生で、業界で大きな話題となっている。

〈叙位・叙勲〉

旭日中綬章
柴田 和史氏(法政大学名誉教授)86年東京大学法学政治学研究科博士課程修了

旭日小綬章
稲葉 本治氏(元茨城県下妻市長)78年経済学部卒
堀内 康男氏(元富山県黒部市長)77年経営学部卒

旭日単光章
古田土 滿氏(現古田土経営代表社員)75年経営学部卒

〈知事・市長〉

○大分県津久見市長
石川 正史氏(いしかわ・まさし)99年経済学部卒
23年12月26日～1期目

○石川県かほく市
油野 和一郎氏(あぶらの・わいちろう)
72年経済学部卒
24年4月11日～6期目

〈新社長〉

○ロジスティード㈱
中谷 康夫氏(なかたに・やすお)74年二高卒
78年工学部卒
東京都出身、68歳
24年3月就任

○㈱ワイヤレスゲート
成田 徹氏(なりた・とおる)
98年経営学部卒
神奈川県出身、48歳
24年3月就任

○㈱ファンコミュニケーションズ
二宮 幸司氏(にのみや・こうじ)04年経営学部卒
福岡県出身、44歳
24年3月就任

○㈱ワイヤレスゲート
成田 徹氏(なりた・とおる)
98年経営学部卒
神奈川県出身、48歳
24年3月就任

○メルシャン㈱
大塚 正光氏(おおつか・まさみつ)93年経済学部卒
大阪府出身、54歳
24年3月就任

○伊藤忠TC建機㈱
高橋 和好氏(たかはし・かずよし)87年経済学部卒
東京都出身、59歳
24年4月就任

○大和ハウス賃貸リフォーム㈱
小髙 一浩氏(こたか・かずひろ)83年経済学部卒
千葉県出身、63歳
24年4月就任

○プレス工業㈱
清水 勇生氏(しみず・ゆうき)86年経済学部卒
東京都出身、61歳
24年4月就任

○㈱グッピーズ
石崎 洋輔氏(いしざき・ようすけ)05年社会学部卒
北海道出身、41歳
24年4月就任

○HUMAN MADE㈱
松沼 礼氏(まつぬま・れい)
97年一高卒 01年法学部卒
パリ出身、46歳
24年5月就任

○㈱エイチワン
真弓 世紀氏(まゆみ・せいき)91年経済学部卒
三重県出身、56歳
24年6月就任

〈訃報〉

○坂川 晃順氏(1958年工卒)23年2月没 享年88歳
○新村 武彦氏(1958年社卒)23年5月没 享年87歳
○橘 精三氏(1960年法卒)23年5月没 享年86歳
○黒川 一夫氏(1967年法卒)23年9月没 享年78歳
○金子 巳慶氏 23年10月没 享年90歳
○大橋 守氏(1966年経卒)23年11月没 享年79歳
○中野 忠氏(1959年経卒)23年12月没 享年88歳
元ワンダーフォーゲルクラブ会長
○山口 泰男氏(1960年経卒)23年12月没 享年85歳
○和田 洋一氏(1978年経卒)24年1月没 享年67歳
○橋本 勝行氏(1980年営卒)24年3月没 享年67歳
校友会組織部会員
○久次米 義之氏(1964年法卒)24年3月没 享年不明
東京都校友会多摩支部長
○竹田 平氏(1959年法卒)24年3月卒 享年89歳
○佐々木 八千代氏(1970年文卒)24年5月没 享年75歳
○簗比地 剛明氏(1948年短大政経卒)没年・享年不明
○播本 幸男氏(1948年短大政経卒)没年・享年不明
○大屋 文彦氏(1948年文卒)没年・享年不明
○鈴木 和男氏(1954年社卒)没年・享年不明
○菱田 楢彦氏(1954年経卒)没年・享年不明
○和田 龍宏氏(1955年経済学研究科修了)没年・享年不明
○石田 寿信氏(1957年経卒)没年・享年不明
○中島 徹夫氏(1961年経卒)没年・享年不明
○長谷川 弘三氏(1961年工卒)没年・享年不明
○石井 英朗氏(1962年経済学研究科修了)没年・享年不明
○齋藤 俊成氏(1967年経卒)没年・享年不明
○大島 光雄氏(1972年工卒)没年・享年不明

進取の気象

東京都議会議員
龍円 愛梨さん

龍円 愛梨（りゅうえん あいり）さん

スウェーデン生まれ。1999年に法学部政治学科を卒業し、テレビ朝日にアナウンサーとして入社。その後、報道局に異動し社会部記者として活躍し、2011年に退職。17年の都議会議員選挙において、都民ファーストの会から出馬し初当選を果たす。現在2期目。

民間と政治のリボルビングドア

マイノリティ当事者性のある議員として

「重度知的障害のある子を育てるシングルマザー」であり「東京都議会議員」として働く私の日常は、マルチタスクが朝から晩まで続き、考え事も心配事も無数にあり、終わりがない「ひとり異種格闘技戦」をしているかのようです。文章にすると苦しそうなのですが、実際は愛する息子の笑顔に幸せをもらい、やりがいのある仕事に感謝の日々です。

2017年に初当選してから7年が過ぎましたが、「誰もが自分らしく輝き居場所があるインクルーシブな社会」を目指して政策を進めています。都議になって最初に提案して実現した「障害のある子とない子が一緒に遊べるインクルーシブ公園」は、瞬く間に全国にも広がり、手前みそになりますが日本の公園の姿を変え始めたと思っています。その後も、都営地下鉄「子育て応援スペース」設置、インクルーシブ教育推進、パートナーシップ制度、若者の健康を守るユースクリニック、障害児の親の就労支援、誰もが自然体験活動ができるインクルーシブツーリズムなど、これまでの都政にはなかった新しい取り組みを提案して進めてきました。私が議員として「初めて実現したこと」が多いのは、マイノリティ当事者性のある議員として、見えにくかった課題に光を当てられたからだと思っています。人生をかけて取り組む意義のある仕事をさせていただいています。

米国での見聞をきっかけに選挙に挑戦

息子にダウン症があると告知を受けた11年前、「障害のある人たちが生きやすい社会にするために、これからの私の人生を使おう」と漠然と決めました。出産した米国では、障害者福祉が圧倒的に先進的であり、日本はこの分野では40年遅れていることに帰国して気が付きました。困り果てている親にたくさん出会う中で、米国で見聞してきたことを生かして少しでも状況を改善したいと思い、育児と両立できるのか不安でしたが、都議会議員に挑戦しました。あの時、勇気を出して本当に良かったと思っています。

テレ朝時代のスキルを生かして

法政大学を卒業した25年前は、政治学科出身とはいえ、まさか議員になるとは想像さえしていませんでした。しかし、振り返ってみれば、父親が政治学者であったこと、政治学を学んだこと、法政大学自主マスコミ講座に出会ったこと、これらの全てがつながっていたように思います。当時は就職氷河期でしたが自主マスのおかげでテレビ朝日に就職でき、13年勤めました。7年はアナウンサーとしてニュース情報番組を担当し、6年は報道局社会部で事件事故等の報道に携わりました。ここで得たスキルや経験は、今、議員としての強みになっています。

テレビ朝日
アナウンサー時代

私の政策はこれまでにない内容であることも多いことから、まずは理解してもらえることが、政策を進める上で重要です。そのため、議場で質問する際にはアナウンススキルを生かして「伝える」ことに注力しています。また取材スキルは、政策立案の過程にとても役立っています。

多様な議員が多様な政治に

昨今、日本でも転職は一般的になってきましたが、キャリアパスの選択肢に「議員」を考える人はまだまだ少ないかもしれません。海外では民間と官公庁の間を人材が行き来することを「リボルビングドア（回転扉）」と表現し、多様な民間の高度人材が政治・行政に参入し、やりたい事が終わったら民間にまた戻るのが一般的になっています。今の都議会には、介護や金融、アスリートなど、民間で活躍していた議員が増え、それぞれ前職での経験を基に、個性際立つ取り組みをしているのを拝見し、リボルビングドアが日本でも、もっと一般的になるべきではないかと考えるようになりました。

黄金の3割理論

しかし実際は多様な人材どころか、女性参画さえも遅れているのが日本の政治です。男女間の格差を数値化した「世界ジェンダーギャップ指数2023」で、日本は146カ国中125位です。この指数は、経済・教育・健康・政治の4分野を評価していますが、日本は教育と健康は満点に近いにもかかわらず、政治が著しく低いのです。日本に1741ある全地方議会のうち、女性議員が一人もいない議会が244も存在しており、深刻な状況です。

ある特定グループの中での比率が35%を超えると、その存在を無視できなくなるという「黄金の3割理論」がありますが、都議会は2017年に女性30%を達成し、変化が生まれています。私が所属する会派は若い議員が多く、出産する人も少なくありません。そこで「産休」が取れるように会議規則を改正し、議会内託児の仕組みを構築しました。また議会では、子ども・子育てに関する議論が圧倒的に増え、長年の課題であった保育所の待機児童が解消され、産前産後の切れ目のない支援の充実や、高校無償化など、さまざまな政策が一気に進んでいます。

改革に向けて、一歩一歩

議員の多様性は、議論の多様性につながり、議会が活性化されます。とはいえ、まだまだ働き方改革については道半ば。年数回は0時を超える会議があり、子どもがいる議員は苦慮しています。議会改革委員会で引き続き議論を進めなくてはなりません。

ダイバーシティ&インクルージョンという言葉が、最近はよく使われるようになりました。言うのは簡単ですが、実現するには一歩一歩進むしかないと感じています。今後も「ひとり異種格闘技戦」の日々を歩み続けていきたいと考えています。

名誉教授登場

山根 恵子さん

法政大学文学部日本文学科入学。フランクフルト大学文学博士。同志社大学、京都工芸繊維大学等の非常勤講師、第２ドイツテレビ東アジア支局プロデューサーを経て、1993年に法政大学第一教養部着任。1999年に国際文化学部に移籍し、2016年3月末まで教授を務める。

これまでの人生で何よりも私を成長させてくれたのは、1970年代半ばから10年たっぷり滞在したドイツでの学生生活です。金融の中心地として知られた西ドイツのほぼ中央に位置するフランクフルト。市民たちの寄付によって創立したと言われるヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ大学（通称フランクフルト大学）で学位を取得するまでの8年間、現代ドイツ文学、中世高地ドイツ語、哲学を専攻しました。現地で学び始めたドイツ語は意外にも習得が速かったため、折角ならドイツ人と肩を並べて大学入学資格（アビトゥア）を取ろうと思い立ちました。そしてドイツ語、英語、地理の他、日本では「暗記もの」で苦手だった「世界史」にも挑戦しました。論文形式の解答のせいか予想外に良い成績で合格、それまでの気弱な自分が徐々に変化し、何事にも自信を持って行動するようになったのです。住んでいる大半がドイツ人という学生寮の代表として寮費値上げに反対し、他の寮生たちと共に学長に談判したこともあります。外国人だからと差別を受けることも無く、とても有意義な学生時代を送ることができました。

ドイツでは「大学生は未来のリーダー」という考えがあり、既に在学中から専門分野で働き始める人が大勢います。私も映画評論家の卵や公共映画館を運営する友人たちに頼まれ、小津安二郎や黒澤明といった日本映画の巨匠たちの作品を特集上映する際に「活弁」さながらドイツ語で説明する手伝いをしました。大学卒業後の初仕事はフランクフルト市の嘱託として「ドイツ映画博物館」で『日本映画の歴史』という大々的な映画祭を準備し開催することでした。1984年初冬から1985年夏まで8か月に亘って約120本の日本映画を上映（そのうち40本近くは字幕が無かったので、翻訳して上映中に「同時通訳」する必要がありました）、また大島渚監督をお招きして「監督を囲む夕べ」を催す等、様々な企画を実現しました。帰国後、映画制作に携わった時も、「第2ドイツテレビ」東アジア支局のプロデューサーをしていた時も、ドイツでの経験は大いに役立ちました。

1993年春、法政大学第一教養部に着任。主にドイツ語を担当しましたが、その傍ら「日本映画の現在」という「教養ゼミ」を手がけました。日本映画界をけん引する美術監督木村威夫先生を中心に、第一線で活躍する監督やカメラマンがオムニバス形式で授業をする実に画期的な授業でした。受講生が余りにも多く通常の教室では間に合わず、急きょ（今は無き）55年館の大教室に移動した程の大盛況でした。

1999年4月から新設の国際文化学部に移りました。当時はまだ珍しかった学部生全員が海外に留学するSA（スタディ・アブロード）制度が導入されましたが、学生たちにも実り多いドイツ留学を味わってほしいと思いました。SAドイツを体験した学生が山根ゼミに多かったのも偶然ではありません。毎週金曜日のゼミの後は「1ゼミ1膳」をモットーに一緒に食事をしたりワインを飲んだり、そして「ゼミは一生もの」「真剣勝負だ」と皆で何時間も話し合ったものです。ゼミの「卒業制作」として映像作品を完成させ、英語やドイツ語の字幕を付けてイギリスとドイツの大学を訪れ、現地の学生たちと交流したことも今は懐かしい思い出。退職後も時々元ゼミ生たちから連絡があり、当時のように市ヶ谷界隈で美味しいワインを飲むことも楽しみの一つです。

（文責　山根恵子）

元ゼミ生からのメッセージ

山根先生との初めての出会いは大学1年のドイツ語の授業。

留学先をドイツにしたこともあり、留学中も大変お世話になりました。

北ドイツの小都市オルデンブルクで半年間ホームステイしながら、現地の大学に通いました。

さらにその後入った先生のゼミ「ドイツ語圏文化演習」で、先生とより深く関わることに。

ゼミ名の固い印象とは違い、映像を学ぶというゼミでしたが、自主性を重んじ映像以外にも興味があることを自由にやれる雰囲気が良かったです。

印象に残っていることの一つ目は研究室に学生をよく招いたり、ゼミ後にみんなで飲み会をするなど、積極的に交流の場を設けてくださったこと。いつもワイン片手に笑っている先生を思い出します。

そして二つ目はWEB制作やデザインに興味を持っていた私に、ゼミのHPやイベントのポスター等、さまざまなデザイン制作をまかせてくれたこと。この時の経験と自信が今の仕事に繋がっており、今でも感謝しています。

最後に、卒業から18年たった今もちょくちょくお仕事の相談や食事のお誘いをいただけるのをとてもうれしく思っています。全力でお手伝いしますので今後ともよろしくお願いいたします。

（筒井豊）

体育会弓道部創部100周年 記念祝賀会開催

川島部長「文武両道」を目指すと決意

2024年2月17日 ボアソナード・タワー26階「スカイホール（多目的ホール）」において、廣瀬克哉総長をはじめ多くのご来賓および関係者180名の参加により、本学弓道部の創部100周年記念祝賀会が盛大に開催されました。

冒頭、川島健司部長（経営学部教授）のごあいさつに始まり、廣瀬総長を筆頭に多くのご来賓より祝辞を頂戴しました。

川島部長

弓道部は創部以来、大学弓道の強豪校として知られ、2018年は東京都新人戦、全国選抜、全関東、都・リーグ戦、伊勢神宮・王座戦の5冠達成、2023年には4冠、中でも最高位の伊勢神宮・王座戦においては通算18回の優勝を飾り、2022、23年と連覇しています。2023年大会では8名の選手が各12射、計96射の全てを的中させるという、大学弓道史上初のパーフェクトを達成し、優勝しました。

川島部長の決意。「2023年で4冠の大きな目標をクリアし、さて100年以降はどうしたら良いのかと考えました。部則に『文武両道』が定められていることから、その覇者を目指すことにしました」

「文」においては、川島教授が担当している「法政大学会計専門職講座」から例年30～40名以上の公認会計士を輩出、公認会計士試験は司法試験（法曹＝弁護士等）、司法書士試験と共に3大難関国家試験といわれています。

「武」においては、この弓道部の大活躍。既に「文武両道」を達成しているものの、「さらなる高み」を目指すとのことでしょう。

弓道部と公認会計士試験の成果を踏まえ、「本学発展の象徴ここにもあり」を確信した祝賀会でした。

（文・写真 石毛利雄）

鏡割り

制覇を誓いて鍛えた腕

かいな

体育会空手部 創立90周年記念祝賀会開催

5月の「第60回東日本大学空手道選手権大会」では49年ぶり4度目の優勝

全日本・関東大会の優勝者ならびに3位入賞者

2024年2月23日、アルカディア市ヶ谷にて、拳友会（OB・OG会）主催で「法政大学体育会空手部創立90周年記念祝賀会」が関係者約250名が参集し、盛大に開催されました。

空手部は1934年の創部で体育会では20番目の登録、東京六大学では慶應義塾、東大、早稲田に次ぐ長い伝統を持ち、国内外で活躍する多くの卒業生を輩出してきました。

その間、1955年には工学部（現・工体連）空手部が発足し、二部体育会と合わせ、三つの部で構成されてきました。「文武両道」を基本方針に掲げて、全日本大学選手権、全日本学生選手権、関東大学選手権等で活躍。全日本学生選手権男子（個人）組手等の各大会で、優勝者や準優勝者等の上位入賞者を輩出、全日本大学選手権男子団体組手等の各大会で優勝・準優勝する等、顕著な成績を残しています。

部に貢献いただいた諸先輩の表彰

祝賀会では、あいにくの雨にもかかわらず、創立90周年を祝うために、来賓および卒業生・現役部員・新入生のそれぞれの家族が集まり、和気あいあいとした会となりました。

関係者の家族に参加いただいたことで老若男女が集う会になり、法政大学および空手部の活動にご理解と高評価をいただくことになりました。

祝賀会では、空手部・拳友会関係者のあいさつに始まり、物故者への黙とうと追悼演武、大学関係の来賓祝辞、乾杯、功労者表彰と続き、岩本監督から昨年の大会で活躍した選手と現役部員の紹介が行われた後、現役部員の演武も披露され、盛大な会となりました。その後、3人の監督からのあいさつ、参加者全員での空手部の部歌斉唱、応援団・チアリーディング部のアトラクションが祝宴を盛り上げて、校歌斉唱で終了いたしました。

なお、5月5日、東京・九段の日本武道館において、団体組手の「第60回東日本大学空手道選手権大会」が開催されました。決勝戦では帝京大学を2対1で制し、1975年以来49年ぶり4度目の優勝を果たしました。

（副会長 道山浩司）

将来を嘱望される新入学生

創部105年の古豪復活！
体育会剣道部 30年ぶりの大学日本一に輝く

阿比留 宏貴
令和5年度主将
2024年文学部卒
（株）NTTドコモ

体育会剣道部は1919年創部で、今年105年目を迎える伝統ある運動部である。2023年、30年ぶりに全日本学生剣道優勝大会（団体戦）に優勝し、通算5度目の優勝になる。

ちなみに全日本学生剣道選手権大会（個人戦）は、これまで3人が優勝している。

高校3年夏のインターハイで個人3位、団体では決勝トーナメントにも残ることができず、歯がゆい思いでいっぱいだった。大学での捲土重来を期して、当時、大山賢一監督が指導されている法政大学に進学した。

大学最後の1年は剣道が嫌いになるくらい辛く苦しい日々が続いた。選手一個人として頑張るだけでなく、部全体のモチベーションも上げねばと主将の重責に押しつぶされそうになった。7月に個人戦の全国大会があったが、2回戦敗退という結果だった。後輩たちが上位で結果を残していたので、自分の不甲斐なさと悔しさで消え入りたくなった。どんなに稽古をしても満足することができず、剣道を楽しむことができなくなった。そんな時も、同期をはじめ後輩たちは、ずっと自分を激励してくれ、諦めかけそうな時は厳しく叱咤してくれた。そんな素晴らしい仲間と一緒に試合に臨むのも最後となった全日本学生剣道優勝大会（団体戦）では、心が一つになり、実に長く遠かった栄冠を勝ち取った。今までで一番苦しい試合が続いたが、それまでの無念の思いが吹き飛んだ最高な勝利となった。

今回、30年ぶりに大学日本一という頂点に立てたのは、出場選手だけでなく指導にあたってくださった先生方、応援し続けてくれた両親、剣道部の部員全員のおかげであり、心から感謝している。後輩たちは、連覇を目指して錬磨の日々を送っている。

（阿比留宏貴）

マイクの前であいさつする阿比留主将

沖縄県特集

今号は、夏にふさわしく、沖縄で活躍する校友を紹介します

地元局の法政卒アナウンサー座談会

沖縄の地元テレビ局では、法政大学卒のアナウンサーが活躍しています。今回は、その中から3人の方に集まっていただきました。（文・構成　桑原政昭）

―まず自己紹介を

金城　沖縄県出身の金城わか菜です。社会学部卒です。沖縄テレビには2008年の入社です。現在、「Live News イット!」というニュース番組を担当しています。

大城　大城良太です。沖縄県出身で人間環境学部の卒業です。2012年入社です。私も「Live News イット!」を担当しています。

金城さん（左）と大城さん

片野　片野達朗です。神奈川県の出身で国際文化学部を卒業しました。琉球放送に2010年入社しました。スポーツ担当です。琉球放送はラジオも持っているので、ラジオでもしゃべっています。

アナウンサー志望動機は

―なぜアナウンサーに

金城　西洋史がご専門の相良匡俊教授に、なぜか「アナウンサーに向いている」とお声をかけていただき、相良ゼミに入りました。就職氷河期の時代で大変でした。自分の中でアナウンサーになりたいという思いが明確ではなかったため、東京のレコード会社に就職することになりました。音楽業界で働く中で、またアナウンサーに挑戦したいと思い、沖縄テレビを受けました。

大城　那覇高校のとき、バレーをやっていました。バレーの甲子園版である春高バレーに出場したとき、沖縄テレビのアナウンサーに取材いただきました。スポーツに関わる仕事をしたいと思っていて、アナウンサーもスポーツに関わる仕事だと考えました。

就職時は、ちょうど東日本大震災の影響を受けた年で、東北地方はアナウンサーの募集がなく大変でした。

片野　法政二高で野球をやっていました。大学に入って友達に誘われて自主マスコミ講座に入りました。スポーツの実況中継をしたいと思っていました。沖縄に来て15年目になります。沖縄は野球の人気は高いし、プロバスケットボールも琉球ゴールデンキングスが、地域に密着して盛り上がっています。

取材のテーマは

―それぞれのテーマは

金城　教育や子どもを取り巻く問題に取り組んでいます。

沖縄には貧困や若年出産といった子どもに与える影響が大きな問題があります。子どもの明日がよくなるには、大人が変わらなければなりません。

沖縄は全国的に見ても貧困率が高く、しかも、がんばれば、そこから抜け出せる成功例をみたことがない、というような負のループを持つ層があります。そんな人々に社会は手を差し伸べねば、と思います。

大城　今年の4月からアメリカ軍基地の担当になりました。県庁などでの記者活動が増えています。基地問題は県内でも敬遠する傾向がありますが、生活に身近な問題としてどう伝えていくかが課題です。

沖縄でも第二次世界大戦の戦後について学ぶ機会は少なく、現状はスマホで自分の好きな情報しか見ないようになって来ています。今の沖縄の課題を伝えるのも、テレビや新聞の役割かなあ、と思います。

片野　これからもスポーツに携わっていきたいです。先程も述べましたが、これほど県民が、県出身のスポーツ選手を応援するのは、全国的にも珍しいことです。子どもたちの身近に、プロバスケ、プロ野球の選手がいることが刺激となっています。

余談ですが、小学生の息子の友達のお父さんはJTAのパイロットで法政出身です。

法政はパイロット養成コースもあるのですね。沖縄で法政の多様さを改めて知りました。

片野さん

進学志望者を送り出し 卒業生の研鑽を行う

沖縄県校友会幹事長　鈴木洋一さん（1978年経済学部卒）

インカレの優勝がうれしかった

「アンカーの木下裕一が、次々と他大学のランナーを追い抜いてトップになり、法政は18年ぶりに優勝しました。

ユーチューブで、是非、5月にあった第103回関東インカレ陸上男子1部4×400m決勝を、見てください。

彼ら、陸上部の短距離メンバーは今年3月、沖縄市のグラウンドで合宿していました。

陸上というと、どうしても注目は長距離の箱根駅伝に集まってしまいます。短距離も応援しようと、合宿先に飲み物やカロリーメイトなどを差し入れました。

そのメンバーが優勝したのです。実際、会って激励をしたので、本当にうれしかったです」と沖縄県校友会幹事長の鈴木洋一さん。

鈴木さんは、法政大学校友会南九州ブロックの理事でもある。

そして地元の沖縄では、沖縄県飲食業生活衛生同業組合理事長などの要職を務めている。

組合にはステーキハウス、居酒屋、沖縄料理店や、ファーストフード、ピザハウスの店など約1000店舗が加盟していて、半分の店は観光と連動する。そのためコロナ禍では、対策に大変苦労したという。

それが終わり、今インバウンドの外国人客も戻って来ている。もっとも国別としては中国に代わり、台湾、韓国、香港、タイ、アメリカなどが増えているそうだ。

一方で、国内修学旅行生も多く沖縄を訪問している。

園遊会で北大路欣也さんと

地元高校生の法政大学の進学にも力を注いで

「沖縄に来てまた沖縄行きたい、という気持ちになってもらえるように、例えば宿泊も大部屋でなくツインにするなど、サービスを向上させています」。

このように若い世代へのアピールを大事にしている沖縄の観光関係者だが、鈴木さんや校友会関係者は、県内の高校生の法政大学への進学にも力を注いでいる。

「沖縄の高校生の法政大学への進学者数は、九州沖縄ブロックでは、福岡県に次ぐぐらい志望者が多いと聞きます」と鈴木さん。

法政への受験者が増えた理由は、地元の進学塾や高校の進学担当の先生方へのアプローチがある。

「校友会が後援会と連携して、一緒に学校などを回って法政への受験を呼びかけました」と鈴木さん。

また、沖縄県校友会は、校友会長の提案で卒業して地元に帰ってきた若手の異業種交流会を行っている。銀行や建設業、証券会社といったさまざまな業種の30歳以下が30人程度で、校友会がセットしている。

交流会をやることで若手の参加が増えた

「年1回テーマを決めて開催して、みなさんから好評をいただいています。前回は、沖縄本島の恩納村にあるカフーリゾートフチャクコンドホテルの田中正男さんでした。質問がどんどん飛びました。交流会をやることで、若手のみなさんの参加が増えました」。

法政大学志望者を送り出し、帰ってきた卒業生の研鑽を行う。

沖縄県校友会は若い人にターゲットを絞り熱心に活動している。

余談になるが「鈴木」という名字は沖縄では珍しい。鈴木さんは、お父さんが静岡県出身、お母さんが伊江島の出身であるという。高校の時、県立那覇高校に転入して、法政の経済学部に進学した。

「六大学野球は江川卓さんが投手でいましたから、勝って当たり前の時代でした。学生時代は「ハッピージャック」などの店でフォークグループ・ガロに憧れ沖縄フォークを歌ったこともありました」という。

ちなみに筆者は、ハッピージャックの上にある喫茶「軽い心」にはよく通っていた。

（文・桑原政昭）

鉄道のない県で鉄道を想う

大竹直樹（産経新聞那覇支局長　2001年法学部卒）

かつて大阪と鹿児島を結んでいた「なは」という特急列車をご存じだろうか。

南国を象徴するバショウとヤシの葉をイメージしたトレインマーク。鉄道少年だった筆者は、目的地や経由地でもない沖縄の地名をなぜ冠しているのかと不思議に思った記憶がある。

昨年11月、那覇支局への赴任を命じられ、これ幸いと、命名の経緯を取材すると、米軍の統治下にあった1967年、地元紙の琉球新報社が「本土に沖縄名の列車を走らせよう」と列車名を公募し、早期本土復帰への願いを込めて命名されたことが分かった。

寝台特急「なは」も、全国の夜行列車が姿を消していく中、2008年3月、ラストランを迎える。

このとき、「命名に込められた悲願は達成した。長いことお疲れさまでした」と列車をねぎらったのが、当時の那覇市長、翁長雄志氏（1975年、法学部法律学科卒）であった。翁長氏はその6年後、保守と革新の対立を乗り越えると訴え、県知事に就任した。

ケービンが走っていた戦前

沖縄本島では戦前、県民に「ケービン」と呼ばれ親しまれた県営の軽便鉄道が走っていた。だが、1945年3月から始まった沖縄戦で破壊されると、戦後の米軍占領下で再建されることはなく、モータリゼーション（車社会化）が進んだ。

幹線道路では交通渋滞が慢性化しており、翁長氏は、沖縄本島を南北に縦断する沖縄鉄軌道構想の実現を「県民の悲願」とした。

20年前、那覇空港に直結する「沖縄都市モノレール」（愛称・ゆいレール）が開業したが、ご案内のように、二条のレールの上を走る普通の鉄道は沖縄に存在しない。正確に言えば、戦後はさとうきび運搬鉄道のあった南大東島を除きなかった。

翁長氏が知事在任中の2018年3月、有識者らでつくる検討委員会から沖縄鉄軌道のルート案が示された。那覇から名護に至る約70キロを1時間で結ぶ計画だ。

県は沖縄振興策の一つとして、鉄軌道導入に向けた取り組みの推進も政府に求めた。翁長氏は当時病魔に襲われ公務を離れていた。このとき、名代の副知事と面会したのは、内閣官房長官を務めていた菅義偉前首相（73年、法学部政治学科卒）であった。

薬石効なく翁長氏は8月、不帰の客となる。

LRTを北部へ延伸を

その後、沖縄鉄軌道構想は進展を見ず、今に至る。採算面の課題があるためだが、ならば、道路の一部を次世代型路面電車のLRTの軌道に置き換え、整備することはできないか。

沖縄本島北部にはリゾート地も点在しているが、いかんせん空港からのアクセスが悪く、経済発展を阻害している。LRTなら沖縄鉄軌道構想に比べ、速達性や輸送力は劣るものの、建設費は大幅に抑えることができるはずだ。

那覇市は今年3月、市中心部を走る計約11キロのLRT整備計画の素案を発表したが、隣接自治体とも連携し、例えば、海沿いを走る「沖縄西海岸道路」に沿って敷設し、人気の観光地でもある北谷方面に延伸させる案も検討していただきたい。浦添付近ではコバルトブルーの海を望めるはずで、湘南の海岸沿いを走る江ノ島電鉄に勝るとも劣らぬ観光路線になるに違いない。

LRTが延伸し、通過運転もできるようになれば、沖縄とゆかりのある特急「なは」の復活も夢ではない。南国を走る列車の姿を夢想している。

ゆいレール旭橋駅近くにある戦前の軽便鉄道の転車台跡。旧那覇駅は旅客を運んだ３路線の起点だった